

**放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)**

公表:令和3年3月1日

事業所名 子どもの広場今池

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			注意散漫にならないよう、留意していきます。
	2	職員の配置数は適切である	4	1		グループ学習が現人数では難しい時もありますが、職員の育成と定着に向けて注力していきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5			トイレと手洗い場を使いやすいように工夫します。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5			毎朝の朝礼と週一回の会議に加えて、「チャンスプラス1キャンペーン」を実施、会社を挙げて業務改善に取り組んでいます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			保護者からの評価を受け止め、今後改善に努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			毎年公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5		第三者による外部評価は実施していません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			内部研修及び外部講師による研修を実施しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			担当講師を交え、モニタリングを丁寧に行い、個別支援計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			出力機能分析表、筆記力診断を使用し、支援に役立てています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			子どものニーズや必要な活動について、チーム内で相談しより良い活動を企画しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			季節ごとのイベントを行うなど、楽しい企画も交え、参加しやすい工夫をしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5			予めスケジュールを立て、利用者様に喜んで頂けるようにしています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			子どもの特性を加味し、成長を促す個別学習、習い事、集団活動から自由に選べるように日程やプログラムの工夫をしています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			毎朝の朝礼と週一回の会議において、確認をしています。個別学習支援は担当制ではありますが、常に情報共有を図っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5			終了時に情報共有をしますが、時間がない時もあるので、必ず「日々の記録ファイル」に記録し閲覧するよう周知しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			支援の検証・改善につなげるとともに、担当者が変わる可能性も考慮し、支援内容の記録を重視・徹底しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			定期的なモニタリングに加えて、保護者からのご希望や、相談支援の方の協力も得て行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5			子ども支援、保護者支援、児発管・管理者・従業員のガイドラインに基づいた支援を複数組み合わせ合わせて行っています。

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		自発管や児童の担当職員が対応するようにしています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	2	3	全員ではありませんが、保護者を通して担任教師から学校での様子連絡をいただき、支援の充実を図っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		5	連絡体制はありますが、今のところ医療的ケアが必要な子どものご利用はありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		5	現在のところ、機会がありません。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	2	今後移行があった場合は情報を提供していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	積極的に参加するようにしています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		5	現在のところ、機会がありません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		5	現在のところ、機会がありません。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		子どもだけではなく、保護者の考えや希望も聞き、今後の支援を伝えています。
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5		「家族応援セミナー」を毎月1回定期開催しています。周知に努めます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		丁寧な説明を心掛けていきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		職員間での検討会に加えて、小児科医師、公認心理師からの支援や助言も得て行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	1	2020年2月に体験者からお話を聴く会、9月にマカトンセミナーを予定しましたが、延期している状況です。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5		毎週会議を開き、職員間での情報共有、迅速・適切な対応に努めています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		次月の予約確定表を送るとともに、次々月の活動内容、行事予定を発信しています。
	35	個人情報に十分注意している	5		十分留意する旨、職員に周知徹底します。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		知的障がいのある子どもへの代替言語を療育の場で使用し、日常生活にも活用できるよう支援をしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5	現在のところ、機会がありません。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5		マニュアルを見やすい場所に設置します。療育中の訓練は避けていましたが、実施方法を考えたいと思います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		非常災害時に必要な訓練を、子どもたちを怖がらせない方法で定期的に行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		社内研修を行うとともに、毎月の会議においても議題に挙げ、虐待防止に向けた取り組みを行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5		自傷、他害、とっさの身の危険の場合を除いて、子どもにはなるべく触れないよう配慮している旨を保護者に伝えていきます。重要事項説明書、契約書において書面でも確認しています。職員研修で「境界線研修」を行ったうえで、原則として子どもの体には触れないことを周知徹底しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5		契約の時に確認しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		ヒヤリハット記録ノートで共有しています。